

No.30-2	漁況情報・浜の話題	神奈川県水産技術センター
平成 30 年 4 月 26 日		企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531

●漁況情報

- 4月上旬以降、相模湾内では春しらすが好漁です。多い日には1網あたり100kg前後の漁獲があるそうです。獲れたしらすは、生しらすのほか釜揚げしらす等に加工され、各浜の漁業者の直売所等で販売されています。湘南の季節の味覚、春しらすをご賞味ください。

しらす協議会ホームページ「湘南しらす情報局」<http://sea.ap.teacup.com/sirasu/>

●浜の話題

- 3月27日、藤沢市漁業協同組合は、鵠沼海岸でかながわブランド「湘南はまぐり」（チョウセンハマグリ）の稚貝放流体験イベントを開催しました。イベントには藤沢市在住の200名あまりの親子が参加し、約1,800個の稚貝（サイズ32mm）を放流しました。体験後、ワカメの味噌汁や地魚の天ぷらが振る舞われ、参加者は地元の海の幸を味わったとのこと。
- 4月1日、鎌倉漁協は鎌倉パークホテルで朝市を開催しました。今回の朝市では開催100回記念として、ワカメ汁の無料配布やサザエのつかみ取り等のイベントが実施されたそうです。当日は来客も多く、湘南しらすを始めワカメやアカモク等が販売され、好評の内に完売したとのこと。鎌倉の朝市は、毎月第1日曜日10時から同ホテルで開催されています。

鎌倉漁協ブログ <http://sea.ap.teacup.com/jf-kamakura/>

- 4月4日、上宮田漁協所属の漁業者がワカメの種付け作業を行いました。海水を満たした水槽にメカブを入れ、遊走子（ワカメの種のようなもの）の放出を確認した後、種糸を巻いた枠を水槽に入れて種付けしました。漁業者たちは皆、来年のワカメの豊作に期待を寄せていました。
- 4月12日、横須賀市大楠漁協において「藻場回復・保全技術の高度化検討調査」の説明会が開催されました。この調査は水産工学研究所、水産土木建設技術センターが主体となって藻場回復手法を検討するもので、漁協のほか地元関係者や東京海洋大学も協力します。これまでも同漁協は磯焼け対策に熱心に取り組んできましたが、研究機関や大学が協働する本調査により効果的に藻場を回復するため、熱心な議論がなされました。



調査説明会の様子

- 4月12日と16日、長井町漁協所属の漁業者は、来漁期に向けてワカメの種付け作業を実施しました。確認したところ、メカブからの遊走子（ワカメの種のようなもの）の放出状況も良く、作業は順当に完了しました。



ワカメの種付けの様子：メカブから放出された遊走子を塩ビパイプに巻いたタコ糸に付けて、養殖用の種系にします。

- 4月14日、横浜市漁協本牧支所では、本牧漁港内でアカモクの増殖試験を実施しました。根岸湾周辺のアカモク場から親株を採集して、港内に移植しました。全県的に注目されているアカモクですが、また新たなアカモク場の造成が期待されます。



アカモク移植の様子

- 4月中旬、鎌倉漁協では3月から続いてきたアカモクの収穫が終了しました。今年は、繁殖状況がよく前年比1.5倍の収量があり、最近のブームに乗って、売れゆきも好調だそうです。収穫したアカモクは乾物と茹で冷凍品に加工され、かながわブランド「鎌倉あかもく」として同漁協で直売されています。

●お知らせ

- 5月12日（土曜日）と13日（日曜日）の2日間、片瀬漁港において江の島片瀬漁協、北海道の雄武漁協、旭川市および上川町のコラボイベント「@@@祭り（まるまるまつり）」が開催されます。片瀬漁港で水揚げされる魚を使った出店や、雄武漁協の旬の毛ガニの販売のほか、旭川市、上川町の美味しい飲食店の出店もあります。また魚を通じた食育イベント、ゲ

ストを招いた特設ステージも予定されており、大変盛りだくさんなイベントなのでぜひご来場ください。



QRコード
「まるまる祭り」

イベントのパンフレット

- 5月20日（日曜日）、小田原漁港において毎年恒例の「あじ・地魚まつり」が開催されます。小田原漁港で水揚げされたばかりの新鮮な魚や湘南しらすの直売、各種地魚料理の販売などが行われます。当日は道路の混雑が予想されますので、電車など公共交通機関を御利用ください。催し会場まではJR早川駅から徒歩約5分です。